

『水槽の土の中』

桑原 紀子

8月、「桑原さ一ん」の声に出てみたら、近所の人
が中学生の孫娘と立っています。孫娘の手には、チ
リトリ。

「庭の杏から、変な虫が落ちて
きたので、なんとかして・・・」と
のことでした。チリトリには、灰
色っぽい7cm位の幼虫が、転
がっています。コチンと一直線
に固まって動きません。

「今、目の前に落ちてきたん
だけど、死んだの?」と、聞かれ
ても、「一体どうしちゃったん
だろう?」と、思いながら、チリ
トリからつまみ上げました。小さ
な顔をよく見ると、猫みたいな耳
状の突起がついていて、なんだ
か可愛い。預かって、机の上
に紙を敷いて、載せました。硬
直状態で、触ってもピクリとも動
きません。30分たってもその
まま。やっぱりなにかの原因で、
ショック死したのかな?

ところが、しばらく隣室にいて
戻ってみると、虫の姿がありません。
びっくりして机の下を探した
ら、息を吹き返したのか、尺取虫
の歩きで脱走していました。「尺取虫だったのね」

そこで、蛾の幼虫図鑑で特徴のある耳付き顔を調
べたら、すぐ判明しました。「トビモンオオエダシャ
ク」の幼虫で、バラ科などの植物を食べるので、杏の
枝から落ちてきたのもうなづけます。7cmの大きさ
では終令でもうすぐ蛹になるでしょう。蛾の幼虫は、
土に潜ったり葉に包まったりして蛹になるので、水槽
に土と枯葉を入れてやると、その日の内に土中に潜っ
ていきました。

8月の終わり、知人の絵本作家から、新作が出た
と、「しゃくとりむし」(福音館 かがくのとも)の絵本が
送られてきました。なんてタイミングがいいのでしょ
う。

みると、トビモンオオエダ
シャクも載っています。幼虫も
蛹も蛾の姿も、精密なイラスト
画です。早速、近所の人に、
絵本と、水槽の蛹を見せに行
きました。中学生、小学生の
孫娘や、友だちも、「本の絵と
そっくり! 蛹ってミイラみたいね」
と、大騒ぎでした。でも「置
いていかないで!」とのことで、
持って帰りました。

それから9月になり、またチリ
トリに乗って、杏から落ちた別の幼
虫が届けられました。今度は、
緑色のモモスズメです。例の水
槽に入ると、数時間後に、なん
と、緑色の身体がうっすらピンク
色に染まり、モモスズメの名の通
り、桃色になって、土に潜ってい
きました。

庭を歩いていた黒に黄色の派
手な模様のセスジスズメも、水槽
の土の中にいれました。

10月の今、小さな水槽には、3種類の蛾の蛹が、静か
に眠っています。土の中から取り出してみたら、3つも
コロんとした土色の形。よく見ると、本当にエジプトの
ミイラに似ています。

来年の新緑の頃、元気な蛾たちに生まれ変わるまで、
いっしょに冬を過ごそう、お休み蛹たち。



蛹化直前、土に潜るモモスズメ幼虫